

第4回堀金小学校3年生と南農生とのリンゴ栽培体験交流

第3回の交流会とは異なり、今回は青空のもとで「除袋、デザインシール貼り」といった内容で、1組は10月20日(月)に、2組は10月24日(金)に交流会を実施しました。1組の皆さんは久しぶりの交流会のため、第2農場に到着した際の嬉しそうな表情がとても印象的でした。

赤く色づいてしまった果面にデザインシールを貼っても綺麗なデザインアップルにならないため、前回の交流会で着色を防ぐために袋掛けをしてもらいました。今回は、前回掛けた袋を慎重にはずし、中から出てきた白くて可愛らしいリンゴの表面についている果粉を指で丁寧に拭きとつてから、思いを込め描いてきたシールを貼り付けてもらいました。小学生はリンゴを落とさないように常に慎重かつ丁寧に作業を進め、そこに高校生は親身に寄り添って作業を進めていました。ちなみに、袋を外す際にリンゴを落としてしまった場合は、代替のリンゴを見つけてシールを貼り付け、落ちたリンゴは味を確認してもらうために小学校に持ち帰り、クラスのみんなで食べてもらいました。

次回の第5回交流会では、これまでの実験結果を視覚と味覚の両面で確認した後、デザインアップル4果と生食用にリンゴ1果を収穫し、今年度の交流会は終了となります。お互いに満足できる交流会になりますよう、元気にリンゴ園に来てください。待っています。



恒例の紙芝居による作業内容説明



高校生の説明を真剣に聞く小学生の皆さん



丁寧にデザインシールを貼る



世界に1つだけのデザインシール



作業が終わって畠で交流



交流会に参加しての感想発表